

平成31年度学校自己評価システムシート (県立本庄高等学校)

目指す学校像	活力ある進学校～個性を伸ばし、世界にはばたく「高い志」を持った生徒の育成～
--------	---------------------------------------

重点目標	1 質の高い学びを実現する教育課程の編成と授業の工夫改善を図る。 2 学校行事、部活動の活性化と、第1志望を実現する進路指導を充実させる。 3 国際理解教育と、地域に開かれ信頼される学校づくり
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価 (令和2年1月23日現在)		
年 度 目 標					年度評価 (令和2年1月23日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>○新学習指導要領や入試改革への対応を踏まえ、進学校にふさわしい教育課程の改善、進学実績の向上等、進学校としての方向性と特色を明確にしたシステム改革に取り組む必要がある。</p> <p>○高大接続改革に対応する「本庄高校の学力向上策」を継続実施し、「組織力」と「情報共有」をキーワードに授業力向上に向けて実践研究を進める。</p>	<p>①進学校としての方向性と特色を明確にしたシステム改革</p> <p>②教員の授業力の向上と学習の量的・質的保証</p>	<p>①-1 進学校にふさわしい教育課程の作成、授業確保の推進と進学補習の充実</p> <p>①-2 学校課題の分析・検討と、進学校としての発展を前提とした将来構想等の検討</p> <p>②-1 「学力向上策」の継続的・発展的実施と「質の高い学び」の実現</p> <p>②-2 生徒による授業評価の実施と評価結果を踏まえた授業改善の推進</p> <p>②-3 協調学習・外部機関研修の奨励、教員相互の授業公開、探究学習の効果的な実施等、授業改善の積極的推進</p>	<p>①-1 新学習指導要領に対応した教育課程が編成できたか。</p> <p>①-2 補習計画に外部模試を有効に活用したり、センター試験レベルの小テスト等を導入できたか。</p> <p>②-1 「質の高い学び」を実現するため、教科・学年で定期考査や模試結果のデータ分析を行えたか。</p> <p>②-2 生徒による授業評価を実施し、結果がフィードバックできたか。</p> <p>②-3 教員相互の授業公開を実施できたか。また、研究協議3回以上実施したか。</p>	<p>①-1 プロジェクトチームによる新教育課程案の作成、教科での検討を重ね、ほぼ策定できた。</p> <p>①-2 朝・放課後の補習、夏季補習47講座、冬季休業中のセンター試験プレ解説講座を実施。また、教科担当で工夫した小テスト等を随時実施した。</p> <p>②-1 共通問題、考査後の振り返り授業を充実させるなど『学力向上策』を継続した。</p> <p>②-2 生徒による授業評価は予算の関係から検討が進まず、継続検討を要する。</p> <p>②-3 年2回の授業互見月間や年次研の公開授業(延べ27名)を活用し、教科等での研究協議、観察カードによるフィードバックを実施するなど授業改善に取り組んだ。</p>	B	<p>『学校課題・将来構想検討委員会』を発足し、課題の検討・先進校視察・中間報告等を行った。今後は進学校としての方向性と特色、取組についてさらに検討にする。今年度の分析・検討等をもとに『令和ビジョン』を提言し、教職員一丸となって具体的に実践していく必要がある。</p> <p>生徒の「授業・補習」に関する評価が各項目とも低くなった。授業の工夫改善に向けて授業見学等の「教師の学び合い」の奨励、教職員の研修等の充実を一層推進する必要がある。また、授業時間確保と教員の授業力向上に取り組む、さらなる『学習の量的・質的向上』を図る必要がある。</p>
2	<p>○知・徳・体のバランスの取れた人材育成に向け、生徒主体の学校行事や部活動を奨励し、「高い志」とチャレンジ精神を育てる必要がある。</p> <p>○進路講演会やキャリア教育を充実させ、将来への展望を持たせると共に、第1希望を実現させるための組織的・計画的な進路指導を充実させる必要がある。</p>	<p>①生徒主体の学校行事の活性化と部活動の充実</p> <p>②生徒の第1希望を実現するための進路指導等の充実</p>	<p>①-1 生徒主体の学校行事、部活動の活性化と、HPによる学校情報の積極的な公開</p> <p>①-2 『部活動にかかる活動方針』に基づいた適正かつ効率的な運営による部活動の充実</p> <p>②-1 第1志望・現役合格を実現するきめ細かい科目選択指導・個別指導の充実と進路情報の積極的かつ適確な提供</p> <p>②-2 生徒の学力把握と進路検討会の実施等、進路指導部を中心とした組織的・計画的な指導の実施</p>	<p>①-1 HPのアクセス数が前年同時期より増加したか。</p> <p>①-2 各部活動の目標が達成できたか。また、生徒の「学習と部活動の両立」について教員の肯定的回答が前年比上昇したか(H30:61.2%)。</p> <p>②-1 進路情報を毎月1回以上配信できたか。また、生徒・保護者の進路情報の提供に対する満足度が、85%以上になったか。</p> <p>②-2 自分の進路決定先に満足している生徒が80%を越えたか。</p>	<p>①-1 学校行事や生徒の活躍等の学校情報をHPで随時公開した。システムの変更によりアクセス数が停滞した時期があった。</p> <p>①-2 美術部の全国大会、陸上部・硬式テニス部(女子)・吹奏楽部が関東大会出場。他にも多くの部活が県大会で活躍。教員の65.2%が「学習と部活動の両立」について両立できていると回答(4.0%増)。</p> <p>②-1 学年、進路指導部が連携し、入試改革に伴う適時の情報提供を行った。第1志望を実現する指導を組織的・計画的に実施したが、生徒・保護者の満足度は75.8%にとどまった。</p> <p>②-2 指定校107名、公募推薦・AO78名、一般入試6名、就職(公務員)3名が決定。現在の進路決定者数194名(決定率59.5%、1/21現在)。センター試験受験者144名受験、推薦希望者の増加傾向がみられた。</p>	A	<p>学校情報を積極的に公開するため、アクセスしやすく魅力あるHPを構成・作成する必要がある。</p> <p>『部活動に係る活動方針』に基づき、円滑な教育活動を確保しながら学習と部活動の両立を目指す。効率的な部活動運営を進め、更なる文武両道の充実を図る。</p> <p>進路情報(クラス通信・年次日より等)の充実も含め、生徒の学力把握と進路検討の機会を充実させ、進路指導部を中心に学年と連携して生徒の『第1志望の実現』に向け、組織的・計画的・大系的な進路指導を充実させる。また、将来への展望を持たせるためのキャリア教育を充実させる。</p>
3	<p>○世界を舞台に活躍する「高い志」を育てるため国際理解教育を充実させ、行動力を持った生徒を育てる。世界を肌で感じる体験を充実させ学習モチベーションの向上につなげる必要がある。</p> <p>○県北地域の生徒数の減少が進行する中、進学重視型単位制の進学校であるという特色を明確にする。また、地域との連携を強化し、学校の認知度を高め地域の中学生や保護者の期待に応える「活力ある進学校」を目指す。</p>	<p>①世界を体験する国際理解教育の推進と学習モチベーションの向上</p> <p>②「活力ある進学校」の実現に向けた学校・家庭・地域等が連携した取組の実施</p>	<p>①-1 オーストラリア姉妹校への夏の海外研修・ターム留学の円滑かつ効果的な実施等、国際理解教育の推進</p> <p>①-2 アクティブラーニングや、大学入試改革への対応等の主体的学びを促す授業改善の充実</p> <p>②-1 市主催等外部各種イベント等への協力、本庄特別支援学校等異なる校種と連携した取組の実施</p> <p>②-2 学校の特色と実績を明確に打ち出した全教員による積極的生徒募集の実施</p> <p>②-3 PTA・後援会・同窓会と連携協力した学校支援・生徒支援の活性化と創立100周年に向けた準備協議</p>	<p>①-1 海外研修・ターム留学に参加した生徒の満足度が90%を超えたか。</p> <p>①-2 生徒アンケート「学校は生徒の個性や能力を伸ばしている」の肯定的回答が前年比上昇したか(H30:83.4%)。</p> <p>②-1 地域と連携した取組ができたか。</p> <p>②-2 学校説明会の参加者数、並びに訪問の受け入れ等が前年度より増加したか。</p> <p>②-3 PTA・後援会・同窓会と連携した取組ができたか。</p>	<p>①-1 夏の海外研修に参加した15名の生徒が「貴重な体験をした」「また行きたい」等、満足している(100%)。ターム留学1名(1/24～3/29)。世界を体験することで今後の学習モチベーションの向上につながった。</p> <p>①-2 生徒の85.7%(2.3%増)が、学校は「生徒の個性や能力を伸ばしている」と感じている。</p> <p>②-1 学習ボランティア:134名、吹奏楽部による施設訪問演奏会(17回)、サッカー部の市民講座への参加(10/26)、本庄特支の就労体験受入れ(7回)などを実施した。</p> <p>②-2 学校説明会参加生徒2269名、進学フェア相談271組と前年度並み。</p> <p>②-3 PTA・後援会・同窓会と連携して生徒を支援。創立100周年に向けて実行委員会を開催し各部会の検討を進めた。</p>	A	<p>「高い志」を育てるため、引き続き国際理解教育を充実させ、グローバルな視野と行動力を持った生徒を育てる。また、校内における国際理解教育の成果発表や情報提供をさらに充実させ、総合的な学習モチベーションの向上につなげる。</p> <p>『進学重視型単位制の進学校』の特色を明確にし、地域の中学生や保護者の期待に応える「活力ある進学校」を目指す。魅力ある本庄高校をアピールできるように地域との連携を強化し、各方面からの意見・要望・期待等を学校運営に生かし、具体的方策を検討する。</p>

学校関係者評価	実施日 令和2年1月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○これまでの本庄高校の成果と課題を検証し、これからの方向性を見出そうとしている。本庄高校の将来のためにも、的確な将来構想の検討を期待している。</p> <p>○学校自己評価シートに基づき、目標と方策、評価指標をもって教育活動に取り組まれていることがわかりやすく理解できてよかった。PTAとしても学校と連携しながら子供たちのために頑張っていきたい。</p> <p>○在校生の話から、しっかりと考えて高校生活を送っていることが分かった。教師と生徒の信頼関係がしっかりとできてきていることは素晴らしい。</p> <p>○学校情報を積極的に公開しているようでありがたい。これからも見やすくわかりやすい魅力的なホームページを展開していただきたい。さらにPTAの項目などがあると、情報共有が進むと思われる。是非ご検討いただきたい。</p> <p>○キャリア教育については、進路行事やLHRを有効に活用して生徒が自分自身の生き方を見つけるための学習を充実させていきたい。</p> <p>○全国的に推薦入試が増えている傾向のようであるが、変わる大学入試制度の情報提供等を進めながら、生徒が希望する進路実現ができるように検討を重ねていただきたい。</p> <p>○保護者としては、進路に関する情報をもっと提供していただけると安心する。一層の情報提供をお願いしたい。</p> <p>○海外研修・留学の経験が、生徒の力になっていることは大変素晴らしいことである。今後工夫すべきところをさらに検討しながら、一層の活性化と充実した国際理解教育を推進していただきたい。</p> <p>○働き方改革の観点から、学校を運営する管理職および先生方の働き方について、無理のない体制づくりを進めていただきたい。</p> <p>○地域で活躍する生徒の様子は素晴らしい。誇りをもって、これからも活躍してほしい。生徒の生の声が聴けて良かった。</p> <p>○卒業生は愛校心を持って本庄高校を見守っている。これからもよろしく願いたい。</p>